石産協通信
sekisankyo tsuushin

第37号　発行日：2014年11月15日《隔月15日発行》

一般社団法人
日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association
東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階
Tel.03-3251-7671 Fax.03-3251-7681
http://www.japan-stone.org/
企画・編集・発行：広報委員会

(一社)
日本石材産業協会
会長
射場一之（いばかつゆき）

秋深き 隣は何を する人ぞ

あなたもどこかで耳にされたことがあるのではないでしょうか。松尾芭蕉の句です。

10月28日に行われた中国・四国全体会議の懇親会のアトラクションでは、俳句作りにチャレンジしました。開催地の松山市が正岡子規の縁で俳句が盛んということでの企画だったのですが、俳句作り、やってみると意外に面白かったです。通常、懇親会のアトラクションといえば、皆さん話に夢中であまり注目されないことが多いのですが、今回は会場が一体となっていました。もちろん、それには講師の力量があってのことですが……。お世話いただいたみなさん、ありがとうございました。感謝します。

さて、早いもので今年も、もう11月。11月の平均気温を調べてみました。北海道旭川市では1.5℃、沖縄県那覇市では21.3℃なのだそうです。約20℃も違うのですね……。

ちなみに、「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、3月と9月の気温差は、旭川で15.2℃、大阪は15.7℃、那覇では9.1℃も違います。同じ季節のように思えて、約10℃～15℃も違います。暑い夏のあとだから秋のはじめの風がさわやかで、寒い冬のあとだから春のはじめの風があたたか。おなかが空いたあとだから何を食べてもとてもおいしく、のどが渇いたあとだから一杯の水がとてもおいしい……。人の感覚、あるいは受ける印象と言うのでしょうか、それはその現象の「前半分」によってずいぶん変わって来るようです。

お墓ディレクター検定試験

お墓ディレクター検定用新テキスト『お墓の教科書』の発行が当初の予定よりも大幅に遅れ、受検予定の皆さまには大変なご心配とご迷惑をおかけいたしましたこと、幾重にもお詫び申し上げます。

また、今回より1級の出題形式が小論文から記述式問題に変わります。模擬問題集は近日中にお手元にお届けできるよう、現在、委員会メンバーが努力に努力を重ねてくれています。いま少し、お待ち願います。

テキストが変わり出題形式も変わる。さらには1級の受検資格も7年から3年に変わる――そのような節目にもかかわらず、テキスト並びに模擬問題集の発行が遅くなりましたこと、重ねてお詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

競争を肯定的に活かす

『FRIDAY』10月3日号に「偽装、ボッタクリ、騙し放題ボロ儲け墓ビジネスの悪辣手口を業界から内部告発」という見出しの記事がありました。この記事への対応を顧問弁護士の戸部先生と相談した結果、協会としては特別なアクションは起こさないと決めました。その詳細は10月9日の常任理事会において戸部先生から直接お話しいただきましたので、詳しい説明は支部長を通じて各地区長からすでに皆さんお聞き及びかと思いますので、ここでは省略します。

競争相手が存在することで、品質の保持や技術力の向上に結び付いている場面はよくあります。競争相手の不在は、楽なようでいて、かえって自己制御能力を強く求められます。もしライバルが現れたら、「邪魔だな」「嫌なヤツだな」と否定せず、「応援者が来た」と捉えて、自らの力に変えていきたいものです。

「逢う」という字がありますが、この字は「両方から進んできて一点で出会う」という意味です。

人は自由に生きる権利は与えられていますが、他人に迷惑をかける自由だけは与えられていないはずです。他人を傷つければ、それと同じ分量だけ自分も傷を負います。自分の積み重ねてきたモノを大切に思えて、他人の積み重ねてきたものも大切にしてあげたいと思えたらよいなと思います。

周りの人から応援してもらうには、まず自分が周りの人を応援することから始めなければなりません。

事業案内 2014・15　11月～1月

石産協の行事はgoogleカレンダーにて公開しています。支部の活動などもご覧いただけますので是非ご活用ください。URLは石産協ホームページの新着情報からご確認いただけます。
【会員限定閲覧ページ　ID:2014／パスワード:2014】

11月26日(水)	12月10日(水)	2015年1月28日(水)
第5回正副会長会議	第2回理事会	お墓ディレクター検定試験
東京都	東京都	全国7か所（受検要項配布中！希望の方は事務局までご連絡ください。）

Let's お墓参り

連載 全国縦断支部紹介

青森県支部

支部長
番地常夫

■支部設立／2009年5月　■人口／132万人
男：62万人 女：70万人　■65歳以上占める割合／24.3%
■世帯数／51万世帯　■人口密度／137人：km²
■総面積／9,644km²
なんでも自慢 ●世界遺産 白神山地 ●ソーセージ消費量
●いわずとしれたりんご生産量

［県章］

Q.1 必ず毎日行う事はなんですか？
犬の散歩（ラブラドールレトリバー黒 12歳）

Q.2 くちぐせは？「簡単にいうと・・・」

Q.3 趣味・好きな言葉・愛読書は？
趣味…読書　養老孟司、百田尚樹、浅田次郎、曽野綾子氏の著書。
最近ではアレックス・カー「ニッポン景観論」　好きな言葉…虚心坦懐

Q.4 好きなお酒とおつまみ（ごはんのおかず）などを教えて下さい。
枝豆、豆腐、肉野菜炒め

Q.5 地域の特産物　おススメの一品を紹介して下さい。
蜜入りりんご（足が速く、地元でしか流通していません）

Q.6 県内のおススメの観光地はどこですか。
八甲田山、十和田湖、白神山地、三内丸山遺跡
（野球場の観客席までできていた工事を取りやめて保存されました）

Q.7 もし今のお仕事でなかったらどんな職業につきたかったか教えて下さい。
特にありません。同時にふたつの職業は体験できないので今選んだ仕事が最善であると考える。

Q.8 県内の銘石を自慢して下さい。
十和田石、野内石、大鰐石（あまり採れなくなっている）

Q.9 支部の活動を教えて下さい。
お墓なんでも相談室、情報交換（活動が発展途上国状態で反省しています）

Q.10 土地のものを手土産にもっていくとしたら？
ホタテ貝柱の干物。日本酒（田酒、豊杯、亀吉、陸奥八仙・・・）

岐阜県支部

支部長
水野文雄

■支部設立／2008年10月　■人口／204万人
男：99万人 女：105万人　■65歳以上占める割合／26.1%
■世帯数／74万世帯　■人口密度／192人：km²
■総面積／10,621km²
なんでも自慢 ●世界遺産「白川郷」 ●柿消費量
●日本一面積が広い市「高山市」

［県章］

GIFU

Q.1 最近はまっているものはなんですか？
文化とスポーツの国際交流

Q.2 趣味・好きな言葉・愛読書は？
好きな言葉…不言実行。人の嫌がることをしない。

Q.3 好きなお酒とおつまみ（ごはんのおかず）などを教えて下さい。
酒、たばこはやらない。
食べ物は母の手作りを思い出す。

Q.4 県内のおススメの観光地はどこですか。
虎渓山永保寺修道院

Q.5 もし今のお仕事でなかったらどんな職業につきたかったか教えて下さい。
石屋以外考えたことがない。

Q.6 県内の銘石を自慢して下さい。
今は出していない瑞浪の日吉野さくらみかげが灯籠の加工にとてもよかった。
また、土岐市の鶴里町柿のから出た白みかげ石は小さいがとても問い石であった。

Q.7 支部の活動を教えて下さい。
特にない。

Q.8 土地のものを手土産にもっていくとしたら？
陶器、たじみあられ

地区の活動

北関東・信越地区全体会議in茨城 2014年10月1日（水）

「石材学」講師：長 秋雄氏

初の北関東・信越地区全体会議を茨城県で行いました。今回は主に稲田石に重点を置き、①採石場見学 ②石の資料館見学 ③長 秋雄氏による「石材学」講習会と3部構成の勉強会です。北関東屈指の採石を誇る稲田石の採石場では普段なかなか見られない光景に参加者一同感動されている様子でした。

日々自身の仕事を多忙にこなす中、改めて石材について勉強する機会は少ないと思います。このように一日を通した勉強会は有意義な時間だったのではないでしょうか。今後の地区大会にも期待を感じられました。［広報委員会 友常千秋］

中国四国地区全体会議in愛媛 2014年10月28日（火）・29日（水）

松山道後温泉に80名を超える会員が集まり盛大に開催されました。まずは会長挨拶、各部会・委員会の活動報告があり、続いて「石造物の保存と修理」と題して山川均氏の講演会。射場会長の所信にもありますが、愛媛県支部では今治市にある野間神社宝篋印塔の修復に取り掛かろうとしており、先生がおこなってきた修復の実例説明は大変参考になりました。また、会場入口での関連部会各社のPRブースも大盛況でした。

松山と言えば俳句の街。懇親会ではテレビでご活躍中の夏井いつき先生の句会ライブを開催し大いに盛り上がりました。すばらしい作品と先生の一言をご紹介します。

翌日は秋晴れの下、今治市に場所を移し国指定重要文化財の石造物群を山川先生の説明をうけながらの見学後、大島石の丁場（矢野石材・水の谷石材）研修で石割の体験もでき充実した研修会でした。［四国地区長 本宮光朗］

会長賞
1位 鑿を打つ 石工の頬に 秋の風（相原しげのり／愛媛）
副会長賞
2位 それぞれの 指の秋気や 如来像（近藤陽明／愛媛）
3位 韋駄天が 走る来島 秋の朝（秀積／埼玉）
地区長賞
4位 虫の声と 山裾響く 石の音（谷本雅一／三重）
5位 街路樹の さざめき胸に 秋の暮れ（射場一之／大阪）
いよ賞（ブービー賞）
お正月 迎えられるか 我が会社（りゅうじ／岡山）

石の民との句会ライブ（ブログ「夏井いつきの100年俳句日記」より）

今夜は、日本石材産業協会中国四国大会地区全体会議の句会ライブでありました。松山市道後の某迎賓館にて、おっほっほっほっ！という爆笑の時間をご一緒させていただきました。あんまり面白かったんで、写真撮るのを忘れておりましたよ（笑）。

皆さんの俳句を一緒に楽しみながら、ふと気になったのは「墓じまい」というキーワード。いやはや、こういう現実が日本の今なのだなあと、しみじみ思ったわけです。とはいえ、皆さんのノリは、おそろしく軽やか。しかも、上位作品のレベルの高さ！この人ら、何者や？と思った次第です。

NIPPON石博2015

洗練されたデザイン AJI PROJECT

「住」のカテゴリーでは、一般消費者の生活に密接した部分での、石という素材に着目したコーナーを設けます。建築・環境部会担当のコーナーでは、まるごと石で作られたキッチンを展示、石という素材の可能性を示します。同テント内には、世界の石造建築物をわかりやすいパネル展示で解説します。

また、石材産地である庵治町の取り組みである「AJI PROJECT」では庵治石を用いた生活用品の展示販売を行います。高級石材として有名な庵治石が、生活用品としてどのように日常に溶け込むのか、注目していただきたいコーナーです。

さらに「石の相談室」を設け、墓石・建築石材など、消費者の石に関する相談に応じます。従来の「お墓なんでも相談室」の延長線上として、社会調査委員会にご担当いただきます。いよいよ次回は最終回「遊」「願」のカテゴリーについて、ご紹介します。

追記：このたび、2015年3月の北陸新幹線開通に伴う新駅開設記念として、新潟県糸魚川市が「NIPPON石博2015」とコラボレーションすることが決定しました。［NIPPON石博2015実行委員長　二上昌弘］

中日(日中)石材交流会in中国・崇武　2014年10月21日(火)

初めに福建省石材行業協会、許栄旗会長と当協会射場一之会長の挨拶（大代賢一専務理事代読）があり、双方の近況報告と意見交換が行われました。恵安区では2010年には350軒の墓石工場があったが、現在は200軒ほど。しかもその稼働率でさえ60～70％前後で、現在は非常に生産能力過多となっているそうです。中国国内では物価が比較的安定し消費指数の動きが小さくなり、また石材業界の賃金がすでに2010年に比べ2倍になったという理由でここから5年間で市場価格を決める要素は環境保全、労災保険、福利厚生になりそうだとのこと。

その後、「墓石工場経営のツボ：儲かる工場にするために」とし、当協会望月威男顧問より定期的な機械の点検、切削機の精度の高さによるメリットなどについて講演が行われました。中国の工場管理者には参考になる情報提供となり、懇親会の席でも質問が殺到しました。

また、翌日に石材と機械の工場数箇所を見学しましたが、豪翔石業有限公司の工場では地元の大学、機械メーカーと協力開発中の中国製自動研磨機を見ることができました。お互いの現状を知るための良い機会となり、今後も継続した交流会を行いたいと考えています。［輸入卸商部会長 望月秀康］

交流会議

工場見学

委員会・部会の活動

第4回石材加工講習会

埼玉県川口市 2014年10月15日(水)

埼玉県支部協力のもと4回目となる「石材加工講習会」が、加工部会、採石部会、関連部会主催で川口市内にて開催されました。今回は初の関東地区での開催、さらには埼玉技能士会による加工実演も企画され、申し込み開始後2日目で定員以上の参加申し込みがありました。最終的には参加者枠が広げられ勉強会は75名、実技研修会に35名と盛大に開催されました。当日は、長秋雄講師による「石材学」の勉強、技能グランプリ石工の部優勝者 篠原信之氏による加工実演、そして加工部会長 坂口登氏による現場における石の補修・研磨の実技指導です。毎回のことですが、参加者が熱心に取り組む姿勢には頭が下がり、自分自身の知識向上や技術レベルを上げたい方が多いと言うことがうかがえます。

今後もこういった部会同士が連携した企画や事業に期待したいと思います。参加者の皆様、関係者の皆様たいへんお疲れさまでした。［広報委員会 永谷吉局］

補修・研磨の実技指導

次世代共育委員会@岡崎ストーンフェア

愛知県岡崎市 2014年10月18日(土)

開催2日間とも晴天に恵まれた岡崎ストーンフェアは、今回から展示会場の配置の変更や、セミナーにクイズ大会と、多くの企画で盛り上がりました。特に初の試みとなる次世代共育委員会企画のクイズ大会は非常に有意義な時間となりました。参加資格は45歳以下の若手石材人ペア。まずは○×式クイズでスタート。開始から若手には酷ともいえる難問続きで3問目くらいから脱落ペアが続出（笑）次々繰り広げられる難問に、知力と運で切り抜けた３組が絞り出されました。そこからは○×式ではなく、本当に正解を答えられないと生き残れないサバイバルマッチ！またまたここでも、かゆいところに手が届かない難問続き。どのペアも正解が答えられないままクイズは続き、3順目。栄えある第一回クイズ王は鳴本石材㈱鳴本太郎氏・㈲やまにし小田和比古氏ペアに決定しました。しかし運営サイドは、射場会長の逸話なども交えた楽しめるクイズをたくさん用意していたそうで（笑）恐れ入りました！

この企画、またどこかの会場で第二回開催を期待します！全国の若手石材人、次回はぜひ参加し、楽しみながら知識を得、交流の場を共に過ごしましょう。［広報委員会］

クイズ王になりたいか―！

優勝者決定

新入会員紹介

会員数：1282名
（2014年10月9日現在）

東京都

㈱日本エキスパートシステム
会員代表：森 恵子
設立：平成23年6月
業種：墓石関連

新潟県

㈱鈴木仏壇墓石
会員代表：鈴木秀明
設立：昭和20年
業種：墓石・加工関連

徳島県

磯村石材店
会員代表：磯村 稔
設立：大正13年
業種：墓石・加工

愛媛県

㈲西原石材興業
会員代表：西原健二
設立：昭和35年
業種：採石

お墓ディレクターNEWS

第11回お墓ディレクター検定試験

2015年1月28日(水)

2年ぶりとなる「第11回お墓ディレクター検定試験」が、2015年1月28日(水)に全国7会場にて開催されます。今回の試験は、主に新テキスト「お墓の教科書」から出題され、今までと同じく「1級」「2級」があります。一部変更点は以下の通りです。ぜひ多くの皆様に受検して頂きたいです。

01 1級の受検資格が変わります！

いままで実務経験７年→３年に！
２級を取得されている多くの方に
１級取得のチャンスが拡大！
この機会にぜひチャレンジしてください！！

02 1級の出題形式が変わります！

小論文問題が記述式問題に変更。
200 字程度の記述問題を５問出題予定！

03 公式テキストが変わります！

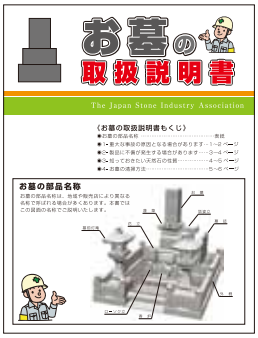
新テキスト「お墓の教科書」が
ついに完成しました！
この新テキストから
出題されます。

※試験の詳細は上記、試験内容をご覧ください。

試験会場	▶札幌　▶仙台　▶東京　▶名古屋　▶京都　▶岡山　▶熊本
受検料	1級・2級とも　会員 18,000円(非会員30,000円)
テキスト	お墓の教科書　会員　8,640円(非会員16,200円) 好評販売中!!
模擬問題集	2014年度版NEW　1,620円(会員・非会員共通) 11月末発送予定

第11回お墓ディレクター検定試験に関する詳細につきましては、「受検要項」に記載しておりますので、事務局よりお取り寄せください。(石産協事務局 星野　TEL 03-3251-7671)

売れてます！『お墓の取扱説明書』。注目されてます！『契約書』。



お墓の取扱説明書(A4サイズ全8頁)

■お墓の取扱説明書　先月発行し、すごいことになっています。発行から数週間で注文が殺到し、瞬く間に初版が売り切れ間近!!　墓石販売店で待ち望まれていたことがよくわかります。ありそうでなかった取扱説明書。お墓を買う人の為でもあり、売る人の為でもあるこの説明書が、これからはお墓には標準装備となるでしょう。

注文の傾向としては、1社で平均100部となっております。今までご購入いただいたお客様にもお渡しするということで、多くの部数を注文する方もいらっしゃいます。お墓参りを促進する協会としても、「お墓の安全」のためにも多くのご注文をお待ちしております。(注文書同送)

■墓石工事請負契約のモデル契約書　10月に公開し、先日は業界紙にも取り上げられたため、注目され、問い合わせが増えています。近年、多くみられる金銭面でのトラブル。口約束が多かった業界ですが、きっちりとした契約をすることが信用にもつながる世の中です。個人情報保護や反社会的勢力排除条項、クーリングオフなど最新の法令にも対応しています。

使い方に応じた2種類の契約書と約款を使いやすいようにデータ提供しています。協会のホームページよりダウンロードしてご使用ください。[墓石部会長 佐野雅基]

「情けは人の為ならず」 青森県支部長　番地常夫

皆様は、お客様との商談でどんな話題を持っていらっしゃるでしょうか。お墓の石種、デザイン、そして価格が大切ですが、ちょっとしたきっかけで、「なんでお墓を建てるのか」と話すことがあります。

お墓の歴史や仏教各宗派の本山の様子と言った硬い話のほかに、あの人と一緒のお墓はいや？という方もいらっしゃいます。

嫁さんと姑さんの仲が良くなくて一緒のお墓に入りたくないということですね。たしかに理不尽なこともときどきあります。さあそれではどうしましょうか？

言えることは、あなたが行ったように、あなたの子が行うということです。ついつい自分は別と考えがちですが、世の中はめぐりめぐって明日は我が身です。自分がされて気持ち良いように相手に行うことですね、なかなか簡単ではないですが。

私はお墓の相談の時は、なるべく簡単でも家系図を書くようにしています。自分の今の悩みは、ちょっと家系図をみれば、ご先祖も体験していることが良くあります。何代か前に、そっくりな境遇の先祖がいるものです。科学技術は進歩していますが、人間心理は古代ギリシャ時代や縄文時代の人たちからそれほど進歩していないのではないでしょうか。「今の若い者は」のセリフは何千年も前から言われていることです。

親がやっていることを子供がみています。例えばお墓詣りに子供が小さいころから連れられていくうちに、何となくお父さんやお母さんがお墓詣りして気持ちいい顔になったなと思っていきます。その子はやがて自分でも同じようにお墓参りをするようになります。そして、今の自分があるのは、自分の努力はもちろんですが、親や先祖のお蔭かなという気持ちがどこかに蓄えられていくのです。

自分も親も子供も永い家系の歴史でみれば一瞬です。その歴史の中で、いつも変わらず立ち続けるお墓は、ずっとお墓詣りされるのを待っています。そんな気持ちの良いお墓造りをめざしています。

編集後記 [広報委員会 吉野博]

お彼岸を迎え、お墓参りに行ってきました。墓前に向かうと、お墓参りの作法や形式などを忘れさせ、背筋がピンと伸びて、ざわめきのない澄んだ空間に、自然に入り込む感じがしました。「また来よう」と思い、私をお墓参りに行かせるきっかけを頂いた「お墓参りの日」に感謝しました。石産協の皆さんが求めるところを自然な形で達成できる広報活動を目指して行きたいと思います。

広報委員会からのお知らせ

NIPPON石博2015当日配布用パンフレットを作成します。来場者向けに会場MAPやプログラムを盛り込んだ素敵な小冊子です。後半に広告掲載を行うため絶賛応募受付中です！(申込書同封)